科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検 ILAS Seminar :Riverine Landscape in Southern Kyoto			担当者所属職名・氏名	防災研究所　教授　　川池　健司 防災研究所　准教授　山野井　一輝 防災研究所　助教　　小柴　孝太		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期集中	受講定員(1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 4月下旬に吉田キャンパスでのガイダンス1回と夏休み期間中の3日間連続講義	教室	宇治川オープンラボラトリー等（ガイダンス：吉田南構内）(宇治キャンパス)			使用言語	日本語
キーワード	防災工学関連 / 歴史景観 / 河川環境 / 京都洛南地域 / 巡検						

[授業の概要・目的]

伏見、宇治および淀・八幡地区の歴史遺産を地形や河川環境の専門家とともに歩く巡検を行います。京都南部低平地における治水遺跡（太閤堤）や宇治川水運の史跡（伏見港、濠川、高瀬川）、そして近代河川工学の文化遺産（疏水、三栖閘門、背割堤）等に関する認識を新たにし、土地のなりたちをふまえた流域の環境防災および水辺景観のあり方について考察します。

[到達目標]

河川との関わりで形成された都市（景観）を巡検を通して確認し，土地のなりたちをふまえた流域の災害リスクを見る目を養う。

[授業計画と内容]

１）オリエンテーション：
　4月下旬の適当な日の5時限に、巡検の意義、巡検コースの特徴、成果のまとめ方等について説明します。

２）９月中の３日間に、歴史景観と河川環境を考察するため、京都南部の街・河川を巡検します。各日、集合場所でブリーフィングの後、カメラ、地形図等を携行してフィールドを歩きます。

３）巡検の成果を各自の洛南観光マップのかたちにまとめます。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

◎成績評価項目
・平常点（巡検への出席と参加態度）
・巡検の成果のまとめ方
詳しくは授業中に説明します。

ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検(2)

[教科書]

参考となる文献資料を毎回配布します。

[参考書等]

（参考書）
参考書リストを配布します。

[授業外学修（予習・復習）等]

京都南部の低平地、とりわけ、淀川の支流（宇治川、木津川、桂川）周辺を巡検しますので、その位置関係や歴史などを予習すると、巡検での説明内容の理解度が深まります。

[その他（オフィスアワー等）]

京都のよさを河川文化と地形環境の視点から再発見しましょう。

巡検途中の様子などを記録できるようにカメラを用意してください。撮影した写真は成果作成に使用します。

学生教育研究災害傷害保険に各自加入しておいて下さい。

旅費（京都南部を移動するための費用：１日１，０００円程度）は自己負担をお願いします。テキスト等の購入は予定していません（地図等の資料は準備します）。

成績は、レポート評価後に直ちに担当に報告した後、１０月に開示される予定です。

[主要授業科目（学部・学科名）]